

**30代から
受けられます!**

令和3年度 串間市国民健康保険 日帰り人間ドックの 募集について

じゃがじゃが
健幸通信

串間市国民健康保険の被保険者を対象とした、日帰りの人間ドックのご案内です。
生活習慣病の発症や重症化を防ぐことを目的とした「特定健診」と同じ基礎検査項目に加え、各種がん検診がセットになっています。健康状態をチェックしたい方、この機会にぜひご利用ください。

応募期間：5月7日(金)～5月20日(木) ※土日を除く
【受付時間：午前8時半～午後5時15分】

※応募者多数の場合は抽選を行います。先着順ではありません。

電話で応募できます。抽選は5月21日(金)。結果は後日通知いたします。

対象者	本年4月1日現在で満30～74歳であって、申し込み時に保険料の滞納がなく、本年4月1日から受検日まで継続して串間市国民健康保険者資格を有する方。		
実施期間	決定通知書受け取り後～令和4年3月31日(医療機関休診日を除く)		
募集定員 および 検査内容	一般 コース	60名	身体計測、血液検査(貧血・感染症・糖尿病・腎機能・肝機能・脂質)、尿検査、便検査、心電図、胸部レントゲン、上部消化管検査(胃カメラかバリウムを選択)、前立腺検査(男性のみ)ほか(追加料金でピロリ菌の確認も可能)
	プレミアム コース	50名	一般コースに、脳ドック(MRI検査)、腹部・頸部エコー、腫瘍マーカー(すい臓がん、消化器系がん、肝臓がん、卵巣がん、子宮がんなどの発見の手がかり)を追加 ※プレミアムコースは串間市民病院のみの実施
料 金	一般 コース	男性	【選択】胃カメラ 3万5710円(うち2万4710円補助) 自己負担金額 1万1千円
		女性	【選択】胃カメラ 3万2730円(うち2万2730円補助) 自己負担金額 1万円
	プレミアム コース	男性	【選択】胃カメラ 7万240円(うち4万8940円補助) 自己負担金額 2万1300円
		女性	【選択】胃カメラ 6万8850円(うち4万7850円補助) 自己負担金額 2万1千円
実施医療 機関	市 内	串間市民病院(胃カメラ・バリウム)	はなぶさ消化器・内視鏡クリニック(胃カメラのみ)
		小玉共立外科(胃カメラ・バリウム)	河野医院(胃カメラのみ)
	市 外	百瀬病院(胃カメラ・バリウム)	井手胃腸科・肛門科(胃カメラのみ)
		春光会記念病院(胃カメラのみ)	北村胃腸科眼科(胃カメラのみ)
		島田内科胃腸科(胃カメラのみ)	

検査内容などの詳細は、5月1日付の行政連絡文書(自治会回覧板)に同封のチラシをご覧ください。下記の問い合わせ先まで電話でご確認ください。

【問い合わせ先】医療介護課医療保険係(5番窓口) ☎72-0333

健康
マメ
知識

新型コロナウイルス ワクチンについて

串間市民の皆さま、こんにちは。
この4月から内科医として赴任した中西と申します。実は串間市民病院には2014年3月まで勤務していたことがあり、また戻ってきたことになりました。ゴッホの「日没を背に種をまく人」という絵のように、限られた人生の中で医師として自分にできることを精一杯おこないたいと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。
さて、今回はよいよ接種が始まりつつある新型コロナウイルスワクチンについて簡単に書きます。さまざまなワクチンが開発されていますが、新型コロナウイルスに対しては従来のワクチンとは違う、mRNAワクチンなどの新しいワクチンが主流となります。
わが国では、厚生労働省から最初に特例承認の下りたファイザー社のmRNAワクチンの接種が2月中旬ごろから開始されています。ワクチンは初回とその3週間後の

計2回接種します。
接種部位の痛み・腫れや頭痛、発熱などの副反応があり、特に2回目の接種後に多くみられますが数日内にはおさまります。アナフィラキシーなど重篤なアレルギー反応を起こす場合もあります。リスクの高い方は事前の問診で把握し接種の可否を判断します。
mRNAワクチンは全く新しい作用機序のワクチンですので、中長期的な安全性についてなど未知の部分も多く、不安を持たれている方も多いと思います。しかし、95%の発症予防効果(季節性インフルエンザワクチンは約50%)があり、自然感染より強い免疫を獲得



ます。個人的なメリット以外にも、より多くの人がワクチンを接種することで集団免疫が獲得され、高齢者や基礎疾患のある方、妊婦さんなどの弱者を社会的に守ることにつながることも期待されますので、ぜひ前向きに接種をご検討ください。
ワクチン接種に関して疑問や不安のある方は、厚生労働省ホームページ内「新型コロナウイルスワクチンについて」を参照ください。また、串間市の担当課や当院スタッフにもご遠慮なくお尋ねください。

「今月のドクター」
串間市民病院
内科
なかにし ちひろ
中西 千尋先生

